

小学部のキャリア教育の取り組みから

小学部では、将来中学部、高等部に進学し、社会に出たときのために、いろいろな活動を通してキャリア教育に取り組んでいます。今回は、10月に行われた、中学部体験学習（作業学習）に参加した6年生の皆さんの様子をお伝えします。

環境整備班、ほたて班、花だん班、リサイクル班、手工芸班の五つのグループに分かれて、ダスターモップ掛け、ほたてのロープ巻き作業、ヒバチップの袋詰め作業、ペットボトルのラベルはがし、封筒折り作業等を体験しました。中学部の先輩方から、作業の方法を教えていただき、一緒に活動することで、中学部の学習への期待を高めることができました。中学部体験学習に参加したことで、中学部進学に向けた目標をもって（今の自分の課題を知って）、学校生活を送ってほしいと思います。

中学部体験学習（作業学習）

環境整備班

アクリルたわし作り、ダスターモップ掛けをしました。手順に沿って、たわし作りに挑戦したり、床をきれいにしたりすることができました。



リサイクル班

ペットボトルのラベルはがしや、キャップの細断、ボトルつぶしの作業をしました。自分に合った作業を見つけて、集中して取り組むことができました。



花だん班

ヒバチップの袋詰め作業を行いました。ヒバチップの香りや感触を味わいながら、チップの重さを量って、袋に詰めることができました。



ほたて班

ほたてのロープを巻き取る作業をしました。バインダーにロープを挟み、用意されたロープを最後まで巻くことができました。



手工芸班

並縫いの体験や、ミサंगा、マグネット作りの作業をしました。針と糸を使った作業に挑戦したり、自分なりに製作したりすることができました。



高等部第3学年 キャリアチャレンジ



12月5日(金)に高等部第3学年がキャリアチャレンジ「社会人になる～社会人の生活～」をテーマとし、消費に関する基礎的・基本的な知識及び技能について学習をしました。青森県消費生活センターの方と、青森大学の教授や大学生を講師として招き、「かしこい消費者になろう」という内容で講話していただきました。

【講話の内容】

- ① 悪質商法、あやしい誘い
- ② ネットショッピングのトラブル
- ③ インターネットや携帯電話でのトラブル対応



講話では、トラブルに巻き込まれたときの対処法など、将来に役立つことを学びました。講師の方が寸劇を交えて、あやしい誘いに対してどう返答するかを実際に行い、生徒たちは、「今日は用事があるので行けません。」等どのように断るか考えて話す様子が見られました。

卒業後、学習したことを生かして良い社会人、賢い消費者になってほしいと思います。

事後学習では、ワークシートを活用して消費者力チェックをしました。様々なチェック項目に答え、自分がどのような消費者かを考えました。自分がどのようなタイプの消費者にあたるかを知った上で、将来の消費生活についても考える良い機会となりました。

しょうひしゃりよく 消費者力チェック！

そうである○ どちらともいえない△ そうではない×

チェック項目	○△×
1、話題のものは絶対を買う	
2、美人やイケメンに話しかけられると弱い	
3、断るのは苦手である	
4、試着すると気に入らなくても買ってしまふ	
5、携帯やパソコンサイトで無料だとクリックする	
6、友達からお金を借りるのは平気なほうだ	
7、ニュースや新聞には興味がない	
8、レシートや領収書はその場で捨てる	
9、アンケートでは名前や住所も正確に書く	
10、だまされる人は運が悪いと思う	
○の合計はいくつ？	

しっかりさん(0～2)、普通さん(3～5)

うっかりさん(6～8)ととてもうっかりさん(9～10)

消費生活でおかしいな
困ったなと思ったら
一人で悩まず

消費者ホットライン
☎188に電話してね

